

無産大衆の間に政治的要求が高まり、その具体的日管闘争団体としての組合の組合の必要を痛感して来たため、又一方労働者の生活が益々悲惨になりつつある事象とそれに基づき組合が真に労働者の日常生活の改善に役立つこと、且つ必要欠くべからざるものであるとの理解が労働大衆の間に拡がりつつ来たため、今や、一般に労働階級の組織率は高まりつつあるも、斯くの如く吾も評議会の異常なる要求は真に労働組合本来の立場を守り一瞬時と強む、大衆の要求に離れなかつたからである。即ち協同を排し、留聲、資本家の買収を排し、常に勇敢に大衆の奮闘的要求を代表して来たからである。

然し、拡大中央委員会は更りに在来の如き、銀計画的、過激的組織方法を排し、一般的、特定の要求を掲げ、且つ日常生活に纏れた、具体的日管闘争により、又共済組合及自主的工場委員会を善用し以て、未組織労働者を組織すべきことを決定した。

而して、之を具体的に実行に移すに當り、先づ在来の組織部の編成の欠陥を更め、組織部、特別活動部員を設置し、更に一層組織部の活動を一集中化するため、本部案として、組織運動を一策を採りし本大会で決定することにした。

### 婦人部

在業労働組合中の婦人はまた婦人だけの性別集団を必要とし、それ本婦人部の如く考へられぬ。本部は、九月十八日、大阪、神戸、京都、泉州各地方評議会の婦人部委員を十月十三日には、関東、京都、大阪神戸、中国東部の各婦人部委員を召集し、全国婦人部協議委員会を開催した。

而して全協議会は、在来の婦人部に対する誤る考へを正し、組合は性別により労働的利害の一致に基づいて成立した団体であつて、組合員としての女子は、その義務と権利に於て何等男子と異なる所なく婦人に異なる仕事だけである。組合の一般的活動に参加しなればならない。而して婦人部は性別集団では無く、封鎖的組織や制度と因襲に束縛されて三重の苦しみをしてゐる。婦人を男子労働者と同様積極的に活動に参加し得る、様、組合の内外に於て、婦人特權の事情に基づいて、特別の教育と訓練の方法を構する機關に過ぎない。ことを明かにした。

而して、婦人部協議会は、婦人部の性質、婦人労働者の組織並に教育に就いてのテーマを究めると共に、機関誌として十月廿日より「婦人版」毎月一回発行し今日に及んでゐる。

(労働新聞所載)